

令和4年度開設予定大学等一覧

令和3年8月

1 大学を設置するもの 4校

区分	大学名	学部・学科等名	入学 定員 (人)	位置	設置者	附帯事項	備考
公立	川崎市立看護大学	看護学部 看護学科	100	神奈川県 川崎市	川崎市	<p>・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>・カリキュラム・ポリシーにおいて、授業科目を「人間理解の基礎」、「専門基礎」、「専門」の3つに区分し、当該3区分を総合的に学ぶことにより、地域包括ケアシステムに資する意欲、知識、技術を養うことが明示されているが、学生がそのことを十分に理解した上で各授業科目を履修し、ディプロマ・ポリシーの達成に資するよう、時宜に応じた周知徹底を図ることが望ましい。</p> <p>・模擬患者を活用する各授業科目については、到達目標を達成し、より充実した教育効果を得ることや教育の質を確実に担保する観点から、模擬患者に求められる事項等を精査し、それを踏まえた研修等を模擬患者に対してあらかじめ実施すること。</p> <p>・模擬患者を活用する各授業科目のシラバスについては、学生が授業科目の内容をあらかじめ理解できるようにする観点から、模擬患者を活用してどのような内容の教育を行うのか等について、より具体的な授業計画等の記載に改めることが望ましい。</p> <p>・一般入試の前期試験において、高等学校からの調査書を活用して、本学の履修上必要となる数学の学力を測ることを、受験者等に対してあらかじめ適切に周知すること。</p>	<p>川崎市立看護短期大学（廃止） 看護学科 ※令和4年4月学生募集停止</p> <p>(△80)</p>
公立	大阪公立大学	現代システム科学域 知識情報システム学類 60 環境社会システム学類 100 教育福祉学類 55 心理学類 45		大阪府堺市 大阪府大阪市 大阪府泉佐野市 大阪府羽曳野市	公立大学法人大阪	<p>・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>大阪市立大学（廃止） 商学部 商学科 (△170) 公共経営学科 (△65) 経済学部 経済学科 (△220)</p>

区分	大学名	学部・学科等名	入学 定員 (人)	位置	設置者	附帯 事項	備考		
(大阪公立大学)	文学部	哲学歴史学科	32			<p>・未来デザインコース（FDC）に所属する学生が、コース履修上の相談体制について適切に理解できるよう、支援組織である「未来デザイン支援WG」の構成メンバー（メンター、サブメンター、指導教員）のそれぞれの役割や責任体制を明確にするとともに、学生に対して丁寧に説明・周知すること。（現代システム科学域知識情報システム学類、現代システム科学域環境社会システム学類、現代システム科学域教育福祉学類、現代システム科学域心理学類）</p> <p>・より効率的かつ効果的な就職・キャリア支援を行う観点から、キャリア支援部門と就職担当教員の役割分担や責任体制を明確にするとともに、その内容について就職・キャリア支援策の具体的な内容と併せて学生に周知することが望ましい。（現代システム科学域知識情報システム学類、現代システム科学域環境社会システム学類、現代システム科学域教育福祉学類、現代システム科学域心理学類）</p> <p>・社会科学系の学びを主体にした学生が実験系の研究を行う場合に必要となる安全講習の実施に関し、履修ガイド等学生に周知徹底するとともに、関連科目のシラバスにも可能な限り明記すること。（現代システム科学域環境社会システム学類）</p> <p>・私法の基礎科目として設定されている「経済活動と法」において、民法の基礎的な内容が着実に習得されるよう配慮するとともに、「環境法Ⅰ」における不法行為に関する授業内容との接続が円滑になされるよう、民法における契約と不法行為との関係に係る概要を習得することが望ましい。（現代システム科学域環境社会システム学類）</p> <p>・教育福祉学類が掲げる教育福祉学が、既に一般的に確立した学問分野ではなく、新たに作り上げていく新規性のある学問分野であるという趣旨を含め、教育福祉学の定義や特色・内容が学生に誤解なく正確に伝わるよう周知すること。（現代システム科学域教育福祉学類）</p> <p>・現代システム科学域教育福祉学類及び生活科学部人間福祉学科は、共に「福祉」を名称に冠しており差異が分かりづらいことから、特に受験生が理解しやすい説明となるよう留意しつつ、両者の違いについて大学の広報や受験生向けの案内等で説明することが望ましい。（現代システム科学域教育福祉学類、生活科学部人間福祉学科）</p>	法学部		
		（3年次編入学定員）	4	法学部 法学科 （3年次編入学定員）			（△165） （△5）		
		人間行動学科	56	（3年次編入学定員）			4	文学部 哲学歴史学科 （3年次編入学定員）	（△32） （△4）
		言語文化学科	43	（3年次編入学定員）			4	人間行動学科 （3年次編入学定員）	（△56） （△4）
		文化構想学科	29	（3年次編入学定員）			4	言語文化学科 （3年次編入学定員）	（△43） （△4）
		法学部						文化構想学科 （3年次編入学定員）	（△24） （△4）
		法学科	180	（3年次編入学定員）			5	理学部 数学科 物理学科 化学科 （3年次編入学定員）	（△27） （△33） （△46） （△3）
		経済学部						生物学科 地球学科	（△34） （△20）
		経済学科	295					工学部 機械工学科	（△56）
		商学部						電子・物理工学科 電気情報工学科 化学バイオ工学科	（△42） （△48） （△56）
		商学科	195					建築学科 都市学科	（△34） （△50）
		公共経営学科	75					医学部 医学科 （指定医療枠） 看護学科	（△90） （△5） （△55）
		理学部							
		数学科	40						
		物理学科	76						
		化学科	85						
		生物学科	40						
		地球学科	24						
		生物化学科	34						

区分	大学名	学部・学科等名	入学 定員 (人)	位置	設置者	附帯事項	備考
	(大阪公立大学)	工学部				<p>・「プログラミング演習（機械学習演習）」及び「先端ソフトウェア環境構築実践」のシラバスにおける授業概要の欄に、本学の学部における情報関連科目の名称を列挙した上で、授業科目の内容等の差異が記載されているが、他大学から入学する学生も想定されることから、例えば、現在の記載は参考として残しつつ、両科目の水準や履修する上で必要な基礎知識を記載するなど、他大学からの入学者であっても理解が容易になるような説明を追記して記載を改めることが望ましい。（情報学研究科基幹情報学専攻(M)）</p> <p>・二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。</p> <p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実行すること。（文学部言語文化学科、文学部文化構想学科、獣医学部獣医学科、文学研究科文化構想学専攻(D)、法学研究科法曹養成専攻(P)、都市経営研究科都市経営専攻(M・D)）</p>	<p>生活科学部</p> <p>食品栄養科学科 (△35)</p> <p>居住環境学科 (△43)</p> <p>人間福祉学科 (△45)</p> <p>※令和4年4月学生募集停止 (3年次編入学は令和6年4月学生募集停止)</p> <p>大阪市立大学大学院（廃止）</p> <p>経営学研究科</p> <p>グローバルビジネス専攻(M) (△20)</p> <p>グローバルビジネス専攻(D) (△8)</p> <p>経済学研究科</p> <p>現代経済専攻(M) (△20)</p> <p>現代経済専攻(D) (△6)</p> <p>文学研究科</p> <p>哲学歴史学専攻(M) (△14)</p> <p>哲学歴史学専攻(D) (△5)</p> <p>人間行動学専攻(M) (△16)</p> <p>人間行動学専攻(D) (△6)</p> <p>言語文化学専攻(M) (△18)</p> <p>言語文化学専攻(D) (△6)</p> <p>文化構想学専攻(M) (△12)</p> <p>文化構想学専攻(D) (△4)</p>
		航空宇宙工学科	38				
		(3年次編入学定員)	1				
		海洋システム工学科	33				
		(3年次編入学定員)	3				
		機械工学科	128				
		(3年次編入学定員)	4				
		建築学科	34				
		(2年次編入学定員)	1				
		都市学科	50				
		(3年次編入学定員)	1				
		電子物理工学科	108				
		(3年次編入学定員)	3				
		情報工学科	77				
		(3年次編入学定員)	2				
		電気電子システム工学科	65				
		(3年次編入学定員)	4				
		応用化学科	70				
		(3年次編入学定員)	7				
		化学工学科	38				
		(3年次編入学定員)	8				
		マテリアル工学科	43				
		(3年次編入学定員)	4				
		化学バイオ工学科	57				
		(3年次編入学定員)	2				

区分	大学名	学部・学科等名	入学 定員 (人)	位置	設置者	附帯 事項	備考
	(大阪公立大学)	農学部					理学研究科
		応用生物科学科	50				数物系専攻(M) (△31)
		生命機能化学科	50				数物系専攻(D) (△10)
		緑地環境科学科	50				物質分子系専攻(M) (△37)
							物質分子系専攻(D) (△7)
		獣医学部					生物地球系専攻(M) (△29)
		獣医学科	40				生物地球系専攻(D) (△9)
		医学部					工学研究科
		医学科	90				機械物理系専攻(M) (△36)
		リハビリテーション学科					機械物理系専攻(D) (△5)
		理学療法学専攻	25				電子情報系専攻(M) (△58)
		作業療法学専攻	25				電子情報系専攻(D) (△9)
		看護学部					化学生物系専攻(M) (△36)
		看護学科	160				化学生物系専攻(D) (△5)
		生活科学部					都市系専攻(M) (△47)
		食栄養学科	65				都市系専攻(D) (△9)
		居住環境学科	43				生活科学研究科
		人間福祉学科	45				生活科学専攻(M) (△53)
							生活科学専攻(D) (△10)
		(大学院)					看護学研究科
		現代システム科学研究科					看護学専攻(M) (△10)
		現代システム科学専攻(M)	40				看護学専攻(D) (△3)
		現代システム科学専攻(D)	10				都市経営研究科
							都市経営専攻(M) (△56)
							都市経営専攻(D) (△5)
							法学研究科
							法学政治学専攻(M) (△15)
							法学政治学専攻(D) (△10)
							法曹養成専攻(P) (△30)

区分	大学名	学部・学科等名	入学 定員 (人)	位置	設置者	附帯 事項	備考
	(大阪公立大学)	文学研究科					医学研究科
		哲学歴史学専攻(M)	14				医科学専攻(M) (△12)
		哲学歴史学専攻(D)	5				基礎医科学専攻(D) (△30)
		人間行動学専攻(M)	16				臨床医科学専攻(D) (△40)
		人間行動学専攻(D)	6				※令和4年4月学生募集停止
		言語文化学専攻(M)	18				大阪府立大学(廃止)
		言語文化学専攻(D)	6				現代システム科学域
		文化構想学専攻(M)	12				知識情報システム学類 (△45)
		文化構想学専攻(D)	4				環境システム学類 (△125)
		法学研究科					マネジメント学類 (△150)
		法学政治学専攻(M)	8				工学域
		法学政治学専攻(D)	4				電気電子系学類 (△163)
		法曹養成専攻(P)	30				(3年次編入学定員) (△4)
		経済学研究科					物質化学系学類 (△150)
		経済学専攻(M)	28				(3年次編入学定員) (△13)
		経済学専攻(D)	4				機械系学類 (△142)
		経営学研究科					(3年次編入学定員) (△3)
		グローバルビジネス専攻(M)	20				生命環境科学域
		グローバルビジネス専攻(D)	6				獣医学類 (△40)
		都市経営研究科					応用生命科学類 (△100)
		都市経営専攻(M)	56				緑地環境科学類 (△50)
		都市経営専攻(D)	5				理学類 (△149)
		情報学研究科					地域保健学域
		基幹情報学専攻(M)	65				看護学類 (△120)
		基幹情報学専攻(D)	10				総合リハビリテーション学類
		学際情報学専攻(M)	25				理学療法専攻 (△25)
		学際情報学専攻(D)	5				作業療法専攻 (△25)
							栄養療法専攻 (△30)

区分	大学名	学部・学科等名	入学定員 (人)	位置	設置者	附帯事項	備考
	(大阪公立大学)	理学研究科					教育福祉学類 (△55) (3年次編入学定員) (△3) ※令和4年4月学生募集停止 (3年次編入学は令和6年4月学生募集停止(令和4年4月に 学生募集を停止する地域保健学域教育福祉学類を除く))
		数学専攻(M)	21				
		数学専攻(D)	4				
		物理学専攻(M)	55				
		物理学専攻(D)	10				
		化学専攻(M)	60				
		化学専攻(D)	10				
		生物学専攻(M)	26				
		生物学専攻(D)	5				
		地球学専攻(M)	15				
		地球学専攻(D)	3				
		生物化学専攻(M)	23				
		生物化学専攻(D)	3				
		工学研究科					大阪府立大学大学院(廃止) 工学研究科
		航空宇宙海洋系専攻(M)	35				機械系専攻(M) (△50)
		航空宇宙海洋系専攻(D)	4				機械系専攻(D) (△7)
		機械系専攻(M)	86				航空宇宙海洋系専攻(M) (△35)
		機械系専攻(D)	8				航空宇宙海洋系専攻(D) (△6)
		都市系専攻(M)	54				電子・数物系専攻(M) (△45)
		都市系専攻(D)	6				電子・数物系専攻(D) (△10)
		電子物理系専攻(M)	80				電気・情報系専攻(M) (△83)
		電子物理系専攻(D)	8				電気・情報系専攻(D) (△11)
		電気電子系専攻(M)	45				物質・化学系専攻(M) (△120)
		電気電子系専攻(D)	5				物質・化学系専攻(D) (△18)
		物質化学生命系専攻(M)	145				量子放射線系専攻(M) (△8)
		物質化学生命系専攻(D)	19				量子放射線系専攻(D) (△3)
		量子放射線系専攻(M)	7				生命環境科学研究科
		量子放射線系専攻(D)	3				応用生命科学専攻(M) (△63)
							応用生命科学専攻(D) (△12)
							緑地環境科学専攻(M) (△20)
							緑地環境科学専攻(D) (△5)
							獣医学専攻(D) (△13)

区分	大学名	学部・学科等名	入学 定員 (人)	位置	設置者	附帯 事項	備考
	(大阪公立大学)	農学研究科					理学系研究科
		応用生物科学専攻(M)	25				数理科学専攻(M) (△15)
		応用生物科学専攻(D)	3				数理科学専攻(D) (△3)
		生命機能化学専攻(M)	30				物理科学専攻(M) (△25)
		生命機能化学専攻(D)	4				物理科学専攻(D) (△3)
		緑地環境科学専攻(M)	20				分子科学専攻(M) (△25)
		緑地環境科学専攻(D)	3				分子科学専攻(D) (△3)
		獣医学研究科					生物科学専攻(M) (△27)
		獣医学専攻(D)	13				生物科学専攻(D) (△5)
		医学研究科					経済学研究科
		医科学専攻(M)	12				経済学専攻(M) (△15)
		基礎医科学専攻(D)	20				経済学専攻(D) (△8)
		臨床医科学専攻(D)	50				経営学専攻(M) (△30)
		リハビリテーション学研究科					人間社会システム科学研究科
		リハビリテーション学専攻(M)	15				現代システム科学専攻(M) (△35)
		リハビリテーション学専攻(D)	5				現代システム科学専攻(D) (△5)
		看護学研究科					人間社会学専攻(M) (△20)
		看護学専攻(M)	50				人間社会学専攻(D) (△8)
		看護学専攻(D)	10				看護学研究科
		生活科学研究科					看護学専攻(M) (△26)
		生活科学専攻(M)	58				看護学専攻(D) (△5)
		生活科学専攻(D)	10				総合リハビリテーション学研究科
							総合リハビリテーション学専攻(M) (△15)
							総合リハビリテーション学専攻(D) (△5)
							※令和4年4月学生募集停止

区分	大学名	学部・学科等名	入学 定員 (人)	位置	設置者	附帯事項	備考
私立	大阪信愛学院大学	教育学部 教育学科 看護学部 看護学科	80 80	大阪府大阪市	学校法人 大阪信愛女学院	<p>・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>・幼児教育コースの3年次の学生は、「教育実習（幼・小）」を実施するため、他の学生と異なり、前期の授業期間が17週に設定されているが、実習期間中に開講される授業科目の履修に制限が生じるなどの不利益を被ることが懸念されることから、例えば、授業期間を15週に設定して他の学生との統一を図るとともに、実習期間中に開講される他の授業科目について補講や課題により補完する仕組みを更に検討するなど、学生の負担を考慮した柔軟な履修設定に改めること。（教育学部教育学科）</p> <p>・「教育実習（幼・小）」について、あらかじめ設定した2週間で当該年次の学生全員が実習を完了する計画となっているが、学生の都合により実習期間を延長する可能性があること等も踏まえ、当初の計画から変更が生じた場合であっても適切な実習指導が受けられるよう、学生が実習の主体であることを前提として当該実習の質を確実に担保すること。（教育学部教育学科）</p> <p>・実習前に学修すべき科目として、領域に関する専門的事項や保育内容の指導法に関する科目等が2年次までに集中して配置されているため、学生がより当該科目等に対する深い理解が得られ、かつ、その後の実習に係る教育効果の向上に資するよう、3年次以降も振り返りの機会を設けることが望ましい。（教育学部教育学科）</p> <p>・長期的かつ安定的な学生の確保に資するため、本学に対する社会的なニーズを客観的な根拠に基づき分析するなどにより、学生募集活動の充実を図るとともに、アドミッション・ポリシーにかなう学生の十分な確保に努めること。</p> <p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p> <p>・新設大学において、確実に学生を確保できるよう、戦略的に取り組むこと。</p> <p>・經常収入に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低く、また、完成年度に至るまでこの状況が継続する見込みとなっていることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。</p>	<p>大阪信愛学院短期大学（廃止） 子ども教育学科 (△120) 看護学科 (△80) ※令和4年4月学生募集停止</p>

区分	大学名	学部・学科等名	入学 定員 (人)	位置	設置者	附帯事項	備考
	(大阪信愛学院大学)					<p>・学校法人運営に支障のないよう、確実に資金計画を実行するとともに、特に、負債の償還にあたっては、関連団体からの寄附金に過度に依存しない返済計画を立てた上で、計画どおりに負債を償還し、負債の減少に努めること。</p> <p>・設置校の多くで定員未充足の状態が生じていることにより、学校法人の財務状況が近年悪化傾向にあるため、経営基盤の安定確保及び経営改善に向けた中長期的な財務計画を必要に応じて見直し実行すること。あわせて、校舎の老朽化に対応する修繕を含めた中長期的な施設整備計画について、計画どおりに実行すること。</p> <p>・改組転換（既設の短期大学等を廃止して、その教員組織、施設設備を基に新たな大学等を設置することによる標準設置経費等の特例）に該当するため、審査基準上、設置経費が標準設置経費を下回っても差し支えないが、校舎（機械、器具等）の整備にあたり教育研究に支障がないよう配慮すること。</p> <p>・改組転換（既設の短期大学等を廃止して、その教員組織、施設設備を基に新たな大学等を設置することによる負債率等の特例）に該当することから、大阪信愛学院短期大学については、計画どおり廃止すること。</p>	<p>助言事項</p> <p>助言事項</p> <p>助言事項</p> <p>遵守事項</p>
私立	令和健康科学大学	看護学部 看護学科 80 リハビリテーション学部 理学療法学科 80 作業療法学科 60		福岡県福岡市	学校法人 巨樹の会	<p>・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>・履修モデルを設定し、特色を示すこと自体は問題ないが、履修科目の多くが共通で学ぶ科目となっているため、各履修モデルの違いや特色等が必ずしも明らかではない。学生等に示す際には、各履修モデルの設定趣旨や、その趣旨を踏まえた履修科目の違い等を明確にすることが望ましい。その際には、例えば、救急看護系履修モデルについては中国語科目を対応科目とせず「韓国語Ⅰ」等の科目を対応科目とし、災害看護系履修モデルでは韓国語科目を対応科目とせず「中国語Ⅰ」等の科目を対応科目とする等、履修モデルの趣旨と対応するか不明確な科目が散見されるため、再度検討の上、必要に応じてより柔軟な科目選択が可能になるように改めることが望ましい。（看護学部看護学科）</p> <p>・専任教員資格審査の結果により、教員の補充が必要とされた授業科目については、確実に教員を充足させること。（リハビリテーション学部理学療法学科）</p>	<p>遵守事項</p> <p>助言事項</p> <p>遵守事項</p>

区分	大学名	学部・学科等名	入学 定員 (人)	位置	設置者	附帯事項	備考	
	(令和健康科学大学)					<ul style="list-style-type: none"> ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。 ・監事と顧問を兼務している者がいることから、監事の役割を踏まえ、兼務の見直しについて検討すること。 ・内部監査について、内部監査体制を整備し、適切に実施すること。 ・学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元に取り組むこと。 ・実施していない収益事業があることから、寄附行為の変更（収益事業の廃止）など適切に対応すること。 ・収益事業について、その収益を私立学校の経営に充てられるよう適切な運営を行うこと。収益を私立学校の経営に充てることができない場合は、収益事業を廃止すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 遵守事項 助言事項 助言事項 助言事項 助言事項 遵守事項 	
計	4校	17学部 46学科 15研究科 31専攻(M) 33専攻(D) 1専攻(P)						

(注) 「備考」欄の()書の数字は、今回の認可申請に伴う関係のある既設学部等の入学定員の減を示す。

2 専門職大学を設置するもの 1校

区分	大学名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	アール医療専門職大学	リハビリテーション学部 理学療法学科 作業療法学科	40 40	茨城県土浦市	学校法人 筑波学園	<p>・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の中心として広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究するという大学の目的、さらに専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を展開するという専門職大学の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>・事業所等を対象としたアンケート結果の分析により、本学で養成される理学療法士及び作業療法士に対する社会的需要があることが示されたものの、就職先として想定される児童発達支援事業所や予防通所リハビリテーション事業所等における雇用や処遇の安定性に懸念が残る。このため、学外に向けた積極的な広報活動等を通じて、本学各学科における養成する人材像や卒業生が修得する知識・能力等について広く周知するとともに、長期的かつ安定的な人材需要や就職先を開拓し、本学で養成する人材に対する需要拡大に努めること。また、開拓した進路について学生に周知を図るとともに、学生に対する丁寧な就職相談等就職支援の充実を図ること。</p> <p>・各科目区分の特性に応じた単位設定及び授業時間の考え方が明らかとなった一方で、1単位の授業時間を30時間とする講義・演習科目が多く設けられていることに加えて、授業時間割が1～4時限の設定となっていることから、卒業要件に必要な単位を修得するに当たっては、非常に多くの授業科目を過密なスケジュールで履修することが必要となる。特に、2年次前期、3年次前期及び3年次後期のカリキュラムが過密となっていることに加え、2年次後期以降に当たっては、臨床実習の前後に実施する客観的臨床能力試験（OSCE）が予定されていることから、学生に過度な負担が生じ、各授業科目に係る事前・事後の十分な学修時間が確保できないことによる教育の質への影響が懸念される。このため、1日当たりの講義枠を増やしたり、授業科目を大括（くく）り化したり、1授業科目あたりの単位を増加させるなど、学生負担と教育の質を考慮した授業時間割に改めるとともに、適切な履修指導を行うこと。</p> <p>・「臨床実習Ⅰ～Ⅳ」の実習前の客観的臨床能力試験（OSCE）について、必要な実習時間の確保を念頭に置いた実施のタイミング等が改善されたものの、例えば、「臨床実習Ⅰ」の授業計画に、実習施設における検査測定の実施が含まれる一方で、当該科目に対応する実習前OSCEの概要についての説明では検査測定に関する内容が含まれていないなど、実習前OSCEの説明に関して各実習の内容を十分に反映できていない箇所がある。このため、実習前OSCEについては、各実習内容を踏まえた設計とした上で、学生が実習に参加するために必要な技能と態度を身に付けられるよう適切な内容に改めること。</p>	<p>遵守事項</p> <p>遵守事項</p> <p>遵守事項</p> <p>遵守事項</p>

区分	大学名	学部・学科等名	入学 定員 (人)	位置	設置者	附帯事項	備考
	(アール医療専門職大学)					<ul style="list-style-type: none"> ・「臨床実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」のシラバスについて、授業計画に示されている「病院施設等での臨床実習時間」及び「在宅学習時間」が「1日当たり」の時間であることの記載がないなど、不明確な点が見受けられるため、理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドライン等を踏まえて適切に改めるとともに、学生が誤解することがないように、正確な情報による周知・徹底や適切な履修指導を行うこと。 ・教育課程連携協議会における議論や臨地実務実習先で聴取したニーズ等を踏まえ、本学の養成する人材像やディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー等に基づき、予防通所リハビリテーション事業所や児童発達支援事業所、放課後デイサービス等における理学療法士や作業療法士に求められる役割や資質・能力等に対応した教育研究活動を展開するなど、時宜に応じた教育課程が、将来にわたって持続的かつ効果的に編成されるとともに教育水準を一層向上させるよう努めること。 ・専任教員資格審査の結果により、教員の補充が必要とされた授業科目については、確実に教員を充足させること。（リハビリテーション学部理学療法学科） ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。 ・新設専門職大学において、確実に学生を確保できるよう、戦略的に取り組むこと。 ・新設専門職大学の規模に応じた適切な事務組織となるよう採用計画を着実に実行するとともに、事務職員としての資質能力を向上させるための研修を実施すること。 ・理事長を補佐する体制の充実や理事の役割分担の明確化など学校法人としてより適切な運営ができる体制整備の充実に努めること。 ・内部監査体制を整備し、実効性のある内部監査を実施するとともに、監事や公認会計士等と連携し、三様監査の充実に努めること。 ・未整備の規程を整備すること。（情報公開に関する規程、公益通報に関する規程、特定個人情報等の取扱いに関する規程、資産運用に関する規程） 	<ul style="list-style-type: none"> 遵守事項 遵守事項 遵守事項 遵守事項 助言事項 助言事項 助言事項 助言事項 助言事項
計	1校	1学部 2学科					